

令和2年度

ふくしまを十七字で奏でよう 絆ふれあい支援事業



県南域内作品集

～ふたりの想いを 17音で奏でてみませんか～

令和2年度県南域内応募総数 8,912組

〔絆部門 7,988組
復興部門 924組〕

福島県教育委員会表彰【最優秀賞】作品

絆部門

はちまきの 軽トラじいちゃん かつこい

白河市立大屋小学校三年 菅森 桜佑

ひ孫から 野菜うまいと 褒め言葉

曾祖父 菅森 勝雄

復興部門

ぼくの石 小みねじょうで ねむってる

西郷村立熊倉小学校二年 草野 瑛斗

見るたびに 元気をもらおう 小峰城

母 草野 紀子

かにみつけ おやこのわらい ひびくうみ

矢吹町立善郷小学校一年 星 結菜

波しぶき あふれる笑顔 戻りつつ

母 星 陽子

令和2年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」を終えて

平成14年度に始まり、皆様方に親しまれてきました「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい事業」は、今年度で第19回となりました。児童生徒の皆さん、ご家族の皆様や地域の大人の方々に多大なご協力をいただき、県南域内からは、8,912組の応募をいただくことができました。ご応募いただいたすべての方々、また各学校の校長先生をはじめご指導をいただきました先生方、各市町村教育委員会教育長様及び担当の皆様により感謝を申し上げます。

お寄せいただいた作品には、親と子、兄弟姉妹、祖父・祖母(曾祖父・曾祖母)と孫のふれあいや日常体験が一枚の名画のごとく切り取られ、見事に表現されています。二つの作品が互いに響き合い、行間にあふれる思いや子どもたちを優しく見守る愛情、「家族の絆」「命のぬくもり」の大切さを感じさせてくれます。

本事業を契機として、この地に育つ子どもたちが、福島県への誇りをもち、家族、友人、地域の人々との絆を深め、心と心のふれあいがさらに広がることを願っております。